

令和3年度 地域自立支援協議会交流会 実施報告

3 プログラム構成のねらい

(交流会グループによる検討より)

1 交流会のテーマ設定理由

○協議会委員として、課題を感じていること

- ・都外からの地域移行について、課題が多いと感じる。
- ・都外からの地域移行は東京都ならではの課題である。
- ・形骸化しているとされる自立支援協議会をどう活性化するかが問題

○課題についての検討

- ・部会として地域移行を題材としているところは少ないイメージがある。
(⇒地域移行の部会設置は8か所、地域生活支援関係20か所程度
令和2年度版動向集より)
- ・各自立支援協議会で地域移行に関して目標を設定して取り組んでいると思うが、目標に到達するのは難しい現状があると思われる。
- ・地域移行の受入れ先(グループホーム等)の数も必要だが、それだけではなく、支援内容についても問題があると思われる。
- ・権利擁護の観点で見ると、その人の思いに沿って実現することが大事だと思う。
- ・各自立支援協議会では、具体的な課題が見つかりにくいのではないかと。また、地域ごとに温度差もありそう。

○今後の協議会活動に必要なこと

- ・そもそも、障害のあるなしに関わらず、自分が希望する生活をしていける地域社会にしていく必要がある。
- ⇒「誰しもが望む地域で希望する暮らし方を実現するためには」をテーマに
- ・地域によって社会資源に差がある現状の中、協議会をどう活性化させていくか

2 交流会終了後の取組の促進

○グループ討議で「自分たちの地域(協議会)へ持ち帰ること」を意見交換し、取り入れたいアイデアややってみようことを見つけ、次の一歩(明日から「まずやってみようこと」)を具体的に設定する。

○全体でグループ討議の共有をする代わりに、各グループの意見をワークシートにまとめ、後日、参加区市に送付
→ワークシートで他のグループのアイデアを共有する。

4 参加者アンケート

回答数：36

ミニシンポジウム

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
13 (36.1%)	22 (61.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.8%)

グループ討議・全体会

非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答
13 (36.1%)	22 (61.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.8%)

<自由意見>

○障害福祉における核心的なテーマ設定であり、行政だけでは考えつけない意見や考えに触れることができたため、参考になった。

○協議会の事務局として、直接当事者の方の声を聴く機会があまり持ていないことに気づかされた。まずは当事者の声を聴くことの重要性や必要性を改めて実感した。

○それぞれの地域から提出されたアンケートとりまとめに興味深く拝見した。特徴が出ていたところもあれば重なるところもあり、参考になった。

○集合での交流会が難しい状況の中、WEB上であってもやはり顔を合わせて話し合うことは重要であり、効果があると実感した。

○グループ討議については、オンラインでも十分に議論できることが体験できたが、テーマが抽象的であったため、議論の深まりに欠けると感じ

○ミニシンポジウムがビデオ視聴であったが、事前にそれぞれで視聴しておく方法にすると、グループ討議に時間をしっかり取れたのではないと思う。